

# ムカシの競馬を読む

平成19年・函館競馬場  
函館記念  
優勝馬：エリモハリアー

© JRA



## 第142回 10年・20年・30年前の7月



# ムカシの競馬を読む



# 須田鷹雄

すだたかお

1970年東京生まれ。競馬ライター。サラブレーダー、大阪日刊スポーツなど各種媒体に寄稿中。

いまから10年前、平成19年の7月

月というと、エリモハリアーが函館記念3連覇を達成した月である。

平地重賞の3連覇はセカイオーラの金

鯉賞に続く3頭目だが、それと比

べても珍しいのが3回それぞれ騎手

が別々だったこと。セカイオーラは島

崎騎手、タップダンスシチーは佐藤

哲三騎手が3回とも乗っていたが、

エリモハリアーは北村浩平→安藤

勝己→武幸四郎とも別々

の騎手とのコンビであった。障害重

賞だとカラージの例もあるがこちらも

鞍上はすべてブレット・スコット騎

手。3人ばらばらで3連覇というの

は今後も出でこないのでないだろ

うか。

エリモハリアーはその後も函館

記念には出走する一方、「札幌で

施行される函館記念（09年）には

「出走しない」という律儀な（？）とこ

とも見せ、引退後は函館競馬場の

誘導馬となつた。

記録といえば、もっとすごい記録

が誕生したのがこの月。7月22日

付の産経新聞から引用しよう。

「日本中央競馬会の武豊騎手は

21日に行われた小倉競馬の第12

レースで通算2944勝目（地方、

海外を除く）を挙げ、JRA最多勝

記録を更新した。同騎手は同日の

第4、8レースで勝つた後、第11レ

ースも1着となり、平成17年に引

退した岡部幸雄騎手が保持してい

た2943勝の最多勝記録に並ん

だ。さらに最終第12レースで今年

75勝目を挙げ、岡部元騎手が37

年10ヶ月かけてつくった大記録を

デビューから20年4ヶ月で塗り替

えた」

この原稿を書いている時点で武

豊騎手は3897勝まできている。

それに次ぐのが横山典弘騎手の2

658勝、蛯名正義騎手の2468

勝。10年プラスしても2番手の騎

手が追いついてこない記録だ。ちな

みに現時点での「40歳未満最多

勝」は北村宏司騎手の1223勝。

それとくらべて倍以上のペースだつ

たということになる。

同じ月、馬に関する話題として

は世紀の大トレードがあつた。7月

17日付の日刊スポーツから引用し

よう。

「世界最大の馬主軍団ゴドルフィンがアドマイヤムーン獲得に乗り

出し、40億円の巨額トレードを近

藤利一オーナーに申し入れたこと

が16日、明らかになつた。条件には

種牡馬だけでなく、競走馬として

の権利も含まれている。月中にも

合意に達して海外へ移籍、ロイヤル

ブルーの勝負服で飛躍する」

既にお気づき通り、実際のト

レードはこの記事とは少し内容が

異なるものとなつた。所属は松田博

資廻舎の今まで海外移籍はしなか

つたし、勝負服は「ドルフィンの青

一色ではなく、ダーレージャパンの

海老に白十字櫻となつた。騎手も

宝塚記念の岩田騎手からそのまま

勝」は北村宏司騎手の1223勝。

それとくらべて倍以上のペースだつ

たということになる。

同じ月、馬に関する話題として

は世紀の大トレードがあつた。7月

17日付の日刊スポーツから引用し

よう。

「世界最大の馬主軍団ゴドルフィンがアドマイヤムーン獲得に乗り

出し、40億円の巨額トレードを近

藤利一オーナーに申し入れたこと

が16日、明らかになつた。条件には

種牡馬だけでなく、競走馬として

の権利も含まれている。月中にも

合意に達して海外へ移籍、ロイヤル

ブルーの勝負服で飛躍する」

既にお気づき通り、実際のト

レードはこの記事とは少し内容が

異なるものとなつた。所属は松田博

資廻舎の今まで海外移籍はしなか

つたし、勝負服は「ドルフィンの青

一色ではなく、ダーレージャパンの

海老に白十字櫻となつた。騎手も

宝塚記念の岩田騎手からそのまま

レードはこの記事とは少し内容が

異なるものとなつた。所属は松田博

資廻舎の今まで海外移籍はしなか

つたし、勝負服は「ドルフィンの青

一色ではなく、ダーレージャパンの